

2023年7月12日(水)第二水曜祈祷会

コリント人への手紙第一7章1～16節

「結婚と独身でいることについて」

### 背景:

コリントの教会にはキリスト者でありながら不品行を行う者がいた。この町の道徳的腐敗の影響が、教会内にも及んでいた。分派、近親相姦、信者間の訴訟、結婚、偶像に捧げた肉、婦人の被りもの、霊の賜物、特に異言、復活否定論者への反論、貧しい聖徒のための献金の問題など諸々の問題について、教会はパウロのもとに手紙を送り、助言を求めた。そこで書かれたのがこの手紙である。

### 本論:

#### 1. 「結婚と独身でいることについて」(1～7節) \*コリントの教会内に禁欲主義の人々がいた。

①パウロはコリントの教会にどうして結婚をするように勧めたのですか。

→

②「自分の妻」「自分の夫」とは、何を意味していますか。

→

③独身でいることも、結婚することも何によると言っていますか。

→

#### 2. 「未婚者とやもめについて」(8～9節) \*「やもめ」とは、夫を先に亡くした女性のこと。

①パウロはなぜ「私のようにしてられるなら、それが良い」と勧めるのですか。

→

②パウロは未婚者とやもめにどうして結婚するように勧めるのですか。

→

#### 3. 「結婚している人々について」(10～16節) \*結婚制度は、神が設けられた(創世記2:23-25)

①夫婦がともにキリスト者の場合、離婚を禁じるのはなぜですか。

→

②夫婦の片方が未信者の場合で、同居を望んでいるなら、なぜ離婚してはいけないのですか。

→

③夫婦の片方が未信者の場合で、離婚を望んでいるなら、なぜそうするように勧めるのですか。

→

### 【適用と分かち合い】

①神はどうして「結婚」という制度を設けたと思いますか。

②「結婚」において何が一番大切だと思いますか。

③信者同士の結婚、また信者と未信者の結婚に関して、あなたはどのように思われますか。

④結婚生活の目的は何ですか。また、独身生活の目的は何ですか。